

産
業

Industry



未来を織りなす

京都に息づくものづくりを代表するのが繊維産業です。

伝統を経糸(たていと)に、革新を緯糸(よこいと)に

匠の卓越した技で織りなす多彩なカタチをご覧ください。

Weaving the Future

Textiles are one of Kyoto's major manufacturing industries. Enjoy the diverse forms woven by master craftsmen with their transcendent skill, combining tradition as the warp and innovation as the weft.

1 株式会社AFURIKA DOGS
AFURIKA DOGS Inc.

2 小嶋織物株式会社
Kojima Orimono Co., Ltd.

3 株式会社 西陣輝洸
Nishijinkikou Co.

4 株式会社伊と幸
ITOKO Co.,Ltd.

5 株式会社 京都紋付
KYOTO MONTSUKI Inc.

6 株式会社 杣長
Somacho Co., Ltd.

7 洛北ビニール有限会社
Rakuhoku Vinyl Co., Ltd.

1

布でイノベーションを起こす 京風アフリカンプリント

魅惑のアフリカンプリント

アフリカ地域に流通する布・アフリカンプリントは別名「ハッピープリント」と呼ばれ、見ていだけで元気になる魅惑のプリントが特徴です。

布でイノベーションを起こす

アフリカンプリントは、かつて日本で生産されていた歴史があります。
染織産業が栄えてきた京都で、アフリカンプリントを企画・生産しています。

京都の染織技術でプリント

西アフリカ・トーゴ共和国の子どもたちの絵を図案化し京都の手捺染(なっせん)で染めた布や、アフリカを代表する東アフリカのポップアート「ティンガティンガ」を京都の機械捺染で染めた布を紹介しています。



株式会社AFURIKA DOGS
京都市下京区綾西洞院町741-7

2

手をかざすと輝く導電織物壁紙

京都府木津川市で全世界のシェアを占めている織物壁紙

ヨーロッパで500年前からあったとされる壁紙の元祖です。

わたしたちは木津川市の織りの文化を「絶やさず、織り重ね続ける」

万博迎賓館に同じ織物壁紙が貼られています

織物に包まれた空間はあたたかい雰囲気流れます。

天然繊維を使う為、調湿性があり、廃棄時は土へ還る。

人にやさしく地球にやさしいサステナブルな壁紙です。

ミャクミャクやこみゃくに手を近づけてみて！

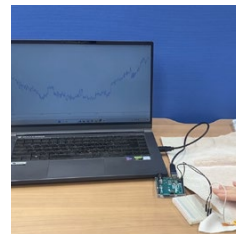
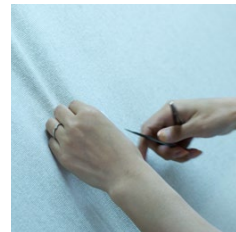
伝統ある織物壁紙を通電させ、光り輝かせました。

壁が直接光ることで、照明がいらない未来になるかも？



小嶋織物株式会社

木津川市山城町上粕北野田芝1-3



3

日本の伝統美 西陣織で彩る新しいアートのかたち

長い歴史に裏打ちされた伝統

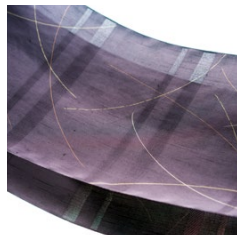
西陣織は約1200年の歴史を持つ日本の伝統工芸で京都の西陣の地名に由来し、平安時代から盛んに作られました。貴族や武家の装飾品として重宝され、現在も世界で高く評価されています。

現代に活用される魅力

華やかさと品格を兼ね備え、日本文化の深さや美意識を体現する西陣織は、工芸の粋を集めた美と技の結晶。伝統に学び新たな形で現代に溶けこむ魅力が、時代を超えて愛される理由です。

西陣織の美しさをそのままに

伝統の美を際立たせる、シンプルでありながらノーブルかつクールなデザイン。金糸や銀糸が使われた帯は、空間を華やかに彩ります。



株式会社 西陣輝洸
京都市北区西賀茂水垣町53

4-1

純国産絹「松岡姫」金彩友禅による、 回診用X線装置のためのパネル

国産ブランド繭「松岡姫」

伊と幸の契約養蚕農家が育む、希少な国産ブランド繭「松岡姫」。パネルに挟み込まれている生地「霞絹」はその繭から紡がれた純国産絹糸を緯糸に使用しています。

伝統工芸「京友禅」の金彩技法

伝統工芸「京友禅」金彩技法を用いて、表情に濃淡を付けた小紋「あわひ七宝」の紋様を生地に施し、日本の感性を世界に向けて発信します。

(意匠考案:関根隆寿(株)伊と幸／協力:芦田金彩工芸(株))

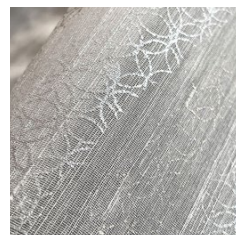
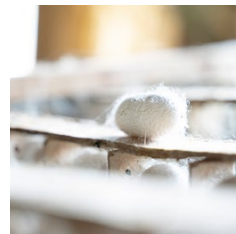
SHIMADZUの回診用X線装置

産業技術と融合し、絹の耐久性を付与することで先端医療機器であるSHIMADZUの回診用X線装置への使用が可能になりました。京都の伝統と技術によるコラボレーションです。



株式会社伊と幸

京都市中京区御池通室町東入 竜池町448-2



4-2

伊と幸の丹後ちりめん「月華舞菊」の 京指物USB行燈

「月華舞菊」の地紋様

丹後ちりめんは和の美を象徴する着物の代表的な絹織物です。「月華舞菊（げっかまいぎく）」の織り紋様の地紋に、金彩の手仕事を加えることで、のびやかな花卉が光を通して浮かび上がります。

（図案制作:廣田真理子（株）伊と幸／金彩加工:伝統工芸士 志賀豊）



手染めのもやぼかし

「もやぼかし」技法は、着物を彩る伝統的な技法です。地紋様が映えるように刷毛で強弱をつけながら、丹念にぼかして手染めしています。

（伝統工芸士:木村むつみ 木村染匠（株））



繊細な組み手の京指物

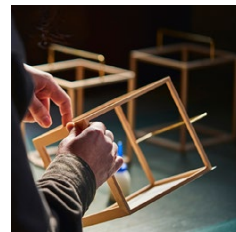
細さを追求した精巧な京指物のフレームには厳選された吉野杉を使用。持ち手と脚部は真鍮製。光源はUSB対応です。

（京指物:（株）興石）



株式会社伊と幸

京都市中京区御池通室町東入 竜池町448-2



5

100年以上続く伝統技術「黒染め」で “リウェア”という選択肢を

黒に染めれば、服は生まれ変わる

100年以上「黒染め」だけを追求してきた京都紋付から、よりサステナブルな社会のために、お気に入りの一着を長く大切にするために、黒染めによる“リウェア”という選択肢を届けます。

職人の手作業による独自の「深黒加工」

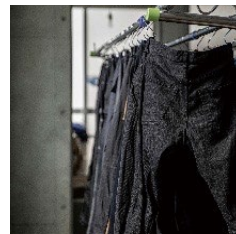
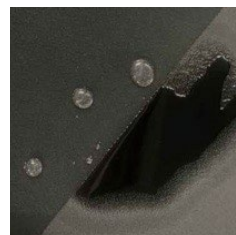
通常の黒染めを行った後に天日干し。さらに、1点ずつ職人が「深黒加工」を行い“世界でも類を見ない圧倒的な黒色”に染め上げます。

ソフトな肌触り+撥水性

長年愛用した衣類が、新品の時のようなソフトな風合いに生まれ変わります。撥水効果も加わり水分汚れにも安心です。



株式会社 京都紋付
京都市中京区壬生松原町51-1



6-1

今も昔も 「アートする」ビロード

最新の昇華転写印刷技術によるビロード版画

光沢のあるビロードにアートをプリントすると、明るい部分は彩度が上がり、暗い部分はより深い黒を表現することができます。また印刷時の偶発的な毛乱れが、作品に一点物としての魅力を与えます。

展示：ビロード版画掛軸「金龍」 右上写真：ビロード大型版画「三鶴」

(画：成願義夫／印刷：日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社)



明治・大正期の輪奈天鷲絨(わなビロード)標本帳

当時はパイル用の経糸を織り込む際に針金をくぐらせ輪を作ることで、パイルを作っていました。杣長に伝わる標本帳には1,000柄以上のデザインを掲載。どれも、当時の職人の創意工夫が伝わる作品です。



株式会社杣長

京都市上京区室町通上立売上ル東入柳図子町304番地

6-2

触ってください、 美肌のための化粧パフ

国産ポリエステルパフ第1号

杣長がパフの製造を開始したのは1970年代。それまでは使い込むとパイルが寝てしまうナイロン製が主流でしたが、ポリエステル製の開発により、洗濯してもへたらないパフが誕生しました。

美肌のための化粧パフ

糸、織など、あらゆる観点から「毛立ちの良さ」を追求。パウダーをしっかりと含んで均質に肌に乗せることができます。極細で柔らかな国産糸を使用した肌思いのパフです。

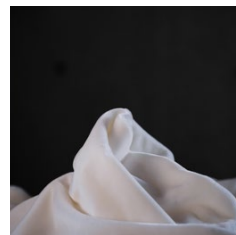
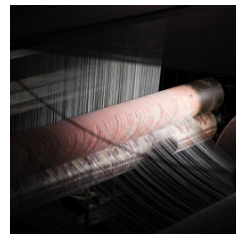
現在も好評のビロードパフ

長いパイルの実現や、洗濯することで毛立ちが再現できるのは、今もビロードパフのみ。さまざまな特長があるので、メイク好きの方はぜひパフにもこだわってみてください。



株式会社杣長

京都市上京区室町通上立売上ル東入柳図子町304番地



6-3

ふれて確かめてほしい

45度に傾斜した生地・ビロード

精密機器製造工程にビロードが必要？

液晶パネルの内部にあるガラス基板に形成された高分子膜を、均一に配向させる工程にビロードの活用が有効であることが分かり、2000年頃に専用生地の開発がスタートしました。



織組織の工夫で傾斜角度を一定に保つ

分子膜配向時には、パイルが45度に傾斜した生地を円柱に巻き付け高速で回転させる必要がありました。これを実現した開發生地は第11回アドバンスディスプレイオブザイヤー部品・材料部門グランプリを受賞しました。

ハイスペック品にこそ必要とされるビロード

安定した傾斜角度と細く長いパイルを実現した生地を使うことで、高精度の液晶画面が製造可能に。医療用モニターや巨大画面製造時にも必要とされています。



株式会社 杉長

京都市上京区室町通上立売上ル東入柳図子町304番地

7

伝統素材の畳を新たな形で再構築 組み合わせ自在のモジュール染め畳

色彩表現の拡がり

畳を染色する特殊な染色技術により、単一的だった畳の色彩表現に新たな可能性を加えました。多彩な色合いが、畳の持つ伝統的な魅力に現代的な感性をプラスし、視覚的な楽しさを引き出します。

平面から立体への進化と三角形が生む調和

二等辺三角形の染め畳をつなげて立体作品に。三角形は「バランス」「調和」「安定」を象徴し、三辺が支え合うことで強度と美しさを兼ね備えています。伝統素材の畳を再構築し、未来への可能性を追求します。

オブジェと日用品の融合

このオブジェは照明機能を備えたランプ、スツール、バッグへと姿を変え、日常生活に溶け込みます。アートと実用性の境界を曖昧にし、生活空間に新たな彩りを添える「日常の中のアート」を実現します。



洛北ビニール有限会社
京都市左京区下鴨森ヶ前町3

京瓦「キモノタイル」に覆われた 空間デザインと映像・音楽によるノンバーバル表現

オリジナルの京瓦「キモノタイル」によって
質感を統一したミニマルかつ静謐な空間を通じて、
来場者がじっくりと京都の未来と過去に
向き合えるような体験を創出します。
さらに、そこに加わるノンバーバルな映像と音響は、
空間と一体となりながらその多面的な魅力を物語ります。



映像紹介



桑畑

撮影地：京丹後市(京丹後市)
協力者：有限会社三徳



絹ガラス

撮影地：スタジオ
協力者：株式会社 伊と幸



繭玉

撮影地：スタジオ
協力者：丹後織物工業組合



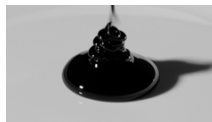
京黒紋付染

撮影地：株式会社京都紋付(京都市中京区)
協力者：株式会社京都紋付



機械織物

撮影地：小嶋織物株式会社(木津川市)
協力者：小嶋織物株式会社



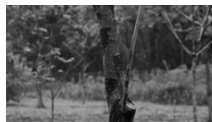
ボタリと落ちる漆

撮影地：スタジオ



藤糸

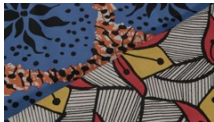
撮影地：藤織り伝承交流館(宮津市)
協力者：丹後藤織り保存会



漆かき

撮影地：福知山市夜久野町(福知山市)
協力者：NPO法人丹波漆

映像紹介



アフリカンプリント生地

撮影地：スタジオ

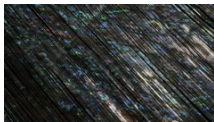
協力者：株式会社AFURIKA DOGS



アフリカドッグス

撮影地：AFRIKA DOGS(京都市下京区)

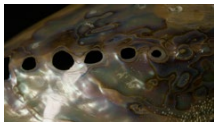
協力者：株式会社AFURIKA DOGS



螺鈿の糸

撮影地：スタジオ

協力者：民谷螺鈿株式会社



貝殻の輝き

撮影地：スタジオ

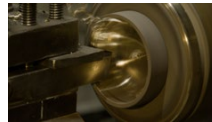
協力者：民谷螺鈿株式会社



京瓦

撮影地：株式会社京瓦 浅田製瓦工場
(京都市伏見区)

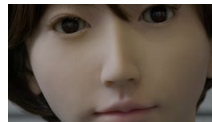
協力者：株式会社京瓦 浅田製瓦工場



佐波理おりん

撮影地：有限会社南條工房(宇治市)

協力者：有限会社南條工房



エリカ

撮影地：株式会社国際電気通信基礎技術研究所
深層インタラクション総合研究所

石黒浩特別研究所(京都府相楽郡精華町)

協力者：株式会社国際電気通信基礎技術研究所
深層インタラクション総合研究所

(JST ERATO 石黒共生ヒューマンロボットインタラクションプロジェクト)

(JST ムーンショット型研究開発事業 目標1 アタカー共生社会プロジェクト)



人と機械の融合

撮影地：オムロン コミュニケーションプラザ
(京都市下京区)

協力者：オムロン株式会社

映像紹介



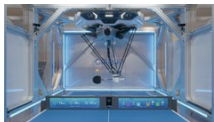
センシング技術

撮影地：オムロン コミュニケーションプラザ
（京都市下京区）
協力者：オムロン株式会社



温室効果ガスを資源に変える 微生物培養システム

撮影地：Symbiobe 株式会社
（京都市西京区）
協力者：Symbiobe 株式会社



卓球ロボット

「フォルフェウス(FORPHEUS)」

撮影地：オムロン コミュニケーションプラザ
（京都市下京区）
協力者：オムロン株式会社



X線発生装置

撮影地：島津製作所 創業記念資料館
（京都市中京区）
協力者：島津製作所



X線装置「ダイアナ号」で撮影した 胸部写真

撮影地：島津製作所 創業記念資料館
（京都市中京区）
協力者：島津製作所

じゅんおんはいけい

巡音拝景

京都府の今の音と、文献などに記述された音をあつめ、
そこに新たな音を配置(Composition=作曲)して制作する。

1996年に環境省(当時環境庁)は「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境(音風景)を広く公募し、音環境を保全する上で特に意義があると認められるもの」として「残したい“日本の音風景100選”」を選定した。それから約30年が経ち、改めて京都府の音を取り上げる。温暖化が加速し、四季が失われつつある現代において山や森林など木々は大変重要で貴重なものである。京都府には豊かな自然があり、美しい音が存在している。自然がこれからも失われないことを祈りながらフィールドレコーディングをした。前述の「音風景100選」で取り上げられたものに加え、新録している。

さらに文学の中にも多くの音の記述がある。録音技術が生まれる以前には古来から人々はことばを使って音を集めた。こういった音を集めることもフィールドレコーディングである。

フィールドレコーディングリスト

Part-1 るり溪(南丹市) 船着場(伊根町) 舞鶴港(舞鶴市) 宮津湾(宮津市) 石清水八幡宮(八幡市)

Part-2 京都御所玉砂利(京都市) 清水寺(京都市) 鹿(京都市) 大江山(福知山市) ちりめん街道 天満神社(与謝野町)

Part-3 琴引浜(京丹後市) 琴滝(京丹波町) 宇治川(宇治市) 真福寺水琴窟(亀岡市) 妙心寺(退蔵院) 水琴窟(京都市)

Part-4 綾部大橋由良川(綾部市) 美濃山竹林(八幡市) 興聖寺(宇治市) 古世親水公園(亀岡市) 詩仙堂鹿おどし(京都市)

御香宮神社(京都市) 雷雨(京都市)

記述されたものからのフィールドレコーディングリスト

大原『平家物語』 鐘の音、鹿の音、虫の音

野宮『源氏物語』 虫の音、松風の音、雅楽の楽器の音

宇治『万葉集』 宇治川にして作る歌二首 1699-1700 雁の鳴き声、川の音

法成寺『栄花物語』 卷第十七「おむがく」 雅楽の演奏音

丹後『丹後国風土記』 逸文 嘆く声、歌

福知山『大江山絵詞』 雷、田楽

石清水八幡宮 世阿弥 能『弓八幡』、『放生川』 不思議な音楽、夜神楽の音

法勝寺『弁内侍日記』 後戸猿楽、鈴の音

谷崎潤一郎 潺湲亭「夢の浮橋」 添水(しおどし)の音

琴弾浜 木内石亭『雲根志』 海辺の砂浜の音

『蜻蛉日記』 車の音

『洛陽田楽記』 永長の大田楽

作・編曲:原 摩利彦

ギター:Polar M

フィールドレコーディング協力:村中真澄

リサーチ協力:原 瑠璃彦

音響デザイン:中原楽(KARABINER inc.)

株式会社 大城音響事務所

制作:MH Studio Inc. / TSUYURI

空間デザイン協力	Space design cooperation
Sandwich	Sandwich
京瓦タイル「キモノタイル」製作協力	Kyoto tile "Kimono tile" production cooperation
株式会社京瓦 浅田製瓦工場	ASADA KAWARA FACTORY
テーマ映像制作	Theme video production
株式会社 青空	AOZORA,LTD
テーマ音楽制作	Theme music production
原 摩利彦	Marihiko Hara

大阪・関西万博きょうと推進委員会